

「2025 年度 4 回生を振り返って」

こんにちは。小西ゼミ 4 回生の山下俊輔です。本稿では、4 回生としての 1 年間と、3 回生を含めた 2 年間のゼミ活動の振り返りを行います。

4 回生では、経営学に関する書籍を通して経営理論を学び、その理解を基にケーススタディ（グループ発表）に取り組みました。理論を知識として習得するだけでなく、実際の企業事例に当てはめて考察することで、経営を多面的に捉える力を養うことができました。

また、ゼミ活動の一環としてディベートも行い、「救急車の有料化」「日本におけるカジノ創設」という 2 つのテーマについて議論しました。ディベートは、進行・タイムキーパー、評価者、賛成派、反対派の 4 つの役割に分かれて進行され、それぞれの立場から論点を整理し、根拠を示しながら主張を展開することで、論理的思考力と客観的に物事を判断する力を高める貴重な機会となりました。

さらに、秋に行ったケーススタディ（個人発表）では、長年にわたり成長を続けている企業を題材に、企業の特徴や今後の企業経営の方向性、経営理念の歴史、そしてそれらがどのように実践・継承されているのかについて分析を行いました。ゼミ生が取り上げた長寿企業の例としては、鹿島建設株式会社、西川株式会社、東レ株式会社、日本生命保険相互会社、任天堂株式会社などが挙げられます。

小西ゼミでは、常にエビデンスを重視した議論が求められるため、発表においても客観的資料や先行研究を基に論を構築する姿勢が重視されました。この 2 年間を通して、「根拠をもとに自らの考えを示す力」を身につけることができたと感じています。この力はまだ発展途上ではありますが、今後の社会人生活や新たな環境においても活かし、さらに成長させていきたいと考えています。最後までお読みいただき、ありがとうございました。



「ゼミ3・4回生の集合写真」